

4 月 3 日、池田市立くれは音楽堂で豊能地区公立学校初任者研修及び新規採用養護教諭研修、新規採用栄養教諭研修、新規採用事務職員研修の開講式を行いました。当日は、小学校 75 名、中学校 29 名、新規採用者 5 名全員が出席しました。学校では新年度体制づくりの会議等が続く中、市町によっては午後からも研修ということで大変忙しい一日だったと思います。

開講式では、事務局長の挨拶にはじまり、サービスの話、そして豊能地区の小中学校の先輩、豊中市立箕輪小学校の新立先生、豊能町立吉川中学校の近藤先生のお二人からメッセージをいただきました。

○サービスについて話を聞き、常に人から見られていることと、地方公務員であることをしっかり意識して勤務していきたいと思いました。

○先輩も一年前、今の自分と同じ悩みや不安な気持ちなどを持たれていたことを聞いてとても安心しました。学校が始まってからまだ二日しかたっていませんが、分からないことが多いので、どんな小さなことでも先輩の先生にすぐに相談していきます。

○「周りの先生方に聞いてよいのか、忙しそうだし・・・」と思うことがこの二日間でよくありました。しかし、聞かないと前に進まないのだと先輩方の話を聞いて感じました。どのように仕事をしていけばよいのか、どのように学級づくりを進めていかなければいけないかなど、不安はたくさんありますが、先輩方の話を聞いて、少しその不安がなくなったように思いました。また、分からないことを聞けていない自分に後悔しています。明日からはもっと積極的に話をし、始業式に向けて準備していきたいと思います。

初任の 1 年間はこれからの教職生活の基盤となる基礎・基本を実践の中で学ぶ時期です。先輩方のように決して一人で抱え込まず、報告・連絡・相談をしっかりと行い、日々の出来事の全てを成長の糧としてください。

☆信頼を創りだすコミュニケーショントレーニング☆

後半はコミュニケーショントレーナーの、せとぐちちか先生による研修でした。ペアワークを交えた演習では、自分自身のコミュニケーションの癖を知り、トレーニングすることで、今までと違ったコミュニケーションをとることができました。

黙って聴くということの難しさを実感しました。学校現場では黙って聴かなければならない場面は多くあると思います。常に意識していくことの大切さを学びました。

人と自分は違う考えを持っているということを理解して、人と関わることはとても大切だと思いました。さまざまな人の考えに触れ、自分の中に新たな考えの引き出しをもって子どもたち、保護者の方、先生方と接していきたいと思いました。また、ペアワークではせとぐち先生がおっしゃったように、黙って聴かれていると自然に自分の口から解決策や思いが出てきて、本当はアドバイスしてほしいのではなく、ただ聴いてほしいだけだったのだと気づきました。人から相談されると解決してあげたくなるけど、まずは相手の気持ちに寄り添って傾聴することが大切だと思いました。

コミュニケーションにおいて「聴く」ことの重要性を、ワークを通して実際に体感することができて非常によかったです。思わず口を出したくなる自分の癖を自覚しながら、沈黙を実践してみたいと思います。

印象に残ったことは、自分の器を広げることで、相手の力を発揮させるという言葉です。それをふまえ、自分を見直してみると、相手に対してこうであってほしいという気持ちが強くなってしまい、そのような返答になってしまっていました。こういう考え方を変えるだけでたくさんの人を受け止められるようになるだけではなく、相手の力も発揮できるのだと分かりました。受け止め方を変えられるよう、大人に対しても子どもに対しても実行していきたいと思いました。

頭ではわかっているつもりでも、経験することで生きた学びとなります。日々の実践の中で、子どもたちや保護者とのコミュニケーションに悩み、また周りの人の意見が気になりすぎることもあると思います。そんなときこそ、今日のことを思い出し、相手の「心」を聴くことができる人をめざしてください。